


07月度 例会 個人 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内幹雄 山本康男 (ゲスト)
		報告日	7/20		
山城	富士山麓	山行日	2018年07月13日(金)～		
山名	御嶽山		2018年07月14日(土)		
山行目的	御嶽山一高い山に登る		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">富士宮登山口ルート (ピストン)</div>  <p>1/2.5 万地形図: 富士山、須走</p>	7/13 晴れ 5:30 自宅発 9:15 水ヶ塚公園 P 10:00 発シャトルバス 10:30 富士宮口 新五合目 11:00 登山口 11:25 六合目 12:50 新七合目 14:08 元祖七合目 15:30 八合目 小屋泊「池田館」	7/14 晴れ 1:10 八合目小屋発 1:50 九合目 2:48 九合五勺 4:00 浅間大社奥宮 5:15 剣ヶ峰(3776m) 6:25 浅間大社奥宮発 6:53 九合五勺 7:27 九合目 8:08 八合目 9:05 元祖七合目 9:51 新七合目 10:55 六合目 11:20 登山口 12:00 富士宮口 新五合目 シャトルバス
---	--	---

〈山行報告〉車を水ヶ塚公園 P に駐車して富士宮登山口までシャトルバスで行く。新五合目に到着した後、高所に体を慣らす為、売店で土産物を見ながら時間を潰す。登山口近くで「富士山保全協力金」を払い記念バッジをもらう。そして 11 時に出発。六合目で見上げると上空はガスって何も見えない。天気予報は晴れなので信じて歩いていく。オンタデが咲いている斜面をジグザクに登っていく。小屋には 18 時までに着けばよいのでゆっくりペースで進む。新七合目に着く頃はガスが取れて眼下には雲が見えていた。予報通りだ。上の小屋も見えているので目標にして歩く。次第に酸素が薄くなってきたのかペースが遅くなっているのを実感する。やっと小屋に着き看板を見たら元祖七合目とある。「2 回目の七合目だ?」先に進んだ実感がしない。もうひと頑張りだと思いながら八合目の小屋を眺めながら進む。途中、小休憩を繰り返してゆっくりと登る。小屋手前の急坂を我慢しながら登っていくと八合目の小屋「池田館」に到着した。ここで一泊して夜中に出発。ご来光を見るため懐電歩行で頂上に向かう。他の登山者もいて懐電の明かりが行列を成している。日の出は 4:30 頃なので十分間に合う時間に頂上奥宮に到着。冷蔵庫の中にいるようで寒い。ダウンを着て日の出を待つ。雲が邪魔してご来光は拝めず、陽が高く上がってからの日の出となる。そして最高峰の剣ヶ峰まで登る。火口を回る御鉢巡りはバスして五合目へ無事に下山する。

確認 (リーダー) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">竹</div> 18/07/20 内	 <p>山頂の夜明け 剣ヶ峰 頂上火口</p>
作成 (報告者) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">竹</div> 18/07/20 内	<p>〈リーダー所見〉一緒に登った山本さんは、昨年も富士山登頂を目指しましたが、仲間の体調不良で途中下山。今回は再挑戦で山頂に立つことができました。深田久弥は「八面玲瓏という言葉は富士山から生まれた。東西南北どこから見ても、その美しい整った形は変わらない。」と記している。「富士山は登る山より見る山だ」といわれますが、登らないと見えない火口の景色、登頂して味わえる達成感を得ました。</p>  <p style="text-align: right;">富士山・剣ヶ峰頂上</p>